

西南戦争錦絵の世界

—戦争絵・風刺画・歌舞伎絵—

5月開催の文学講座は、北九州市立大学の生住昌大先生をお迎えします。

明治10年に勃発した西南戦争。その戦禍は新聞各紙で報道され、報道を基に浮世絵師たちは多くの色鮮やかな西南戦争錦絵(多色摺りの木版画)を制作しました。

講座では、戦争絵ばかりが目立ってきた西南戦争錦絵について風刺画や歌舞伎絵などにも注目し、庶民にとっての西南戦争を考えます。

日時 2021年5月29日(土) | 4時00分~ | 5時30分

会場 福岡市総合図書館3階第1会議室

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-7-1

入場
無料

いきずみ まさひろ

講師 生住昌大 氏(北九州市立大学文学部准教授)

定員 50名(要事前申し込み・抽選) 申し込み締切 5月21日(金曜日)

新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、実施方法が変更または延期・中止となる場合があります。ご理解・ご協力のほどよろしくお願ひします。

応募事項 (1)氏名 (2)郵便番号 (3)住所 (4)電話番号 を漏れなく記載し、ハガキ、FAX、メールのいずれかの方法でお申し込みください。1人1口。定員を超えた場合は抽選になります。当選者(受講決定者)のみ通知をいたします。

§参加にあたって§

- ・参加の際は必ずマスクの着用をお願いします。
- ・入場時に手指の消毒、検温を行います。
- ・申込時にいただいた個人情報、コロナウイルス感染症対策のため保健所などから要請があった場合、情報開示することがあります。
- ・最新の状況は随時館HPでご案内しています。

§お申し込み§

ハガキ 〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-7-1
総合図書館文学・映像課 福岡市文学館担当

FAX 092-852-0609

Email bungakukan@city.fukuoka.lg.jp



「西郷星桐野星」山崎年信・画(明治10年9月)

いきずみ まさひろ

講師 生住昌大氏(北九州市立大学文学部准教授)

1980年生まれ。2011年、九州大学大学院比較社会文化学府博士後期課程満期退学。2014年、博士(比較社会文化)。現在、北九州市立大学文学部准教授。西南戦争をリアルタイムで描いた出版物と流通の研究に注力しており、主要論文に「西南戦争と錦絵—報道言説の展開と明治10年代の出版界」(「日本近代文学」、2014年)、新聞連載に「錦絵が映す西南戦争」(「西日本新聞」、2017年)、講演に「西南戦争錦絵—はじめて鑑賞する人のために」(鹿児島市立美術館、2019年)などがある。

講師からのメッセージ

西南戦争をリアルタイムで描いた錦絵は、教科書や歴史読み物、またテレビ番組などでも当時の戦争の雰囲気伝える資料として取り上げられています。皆さんも一度はご覧になったことがあるだろうと思います。

しかし、錦絵を描いた浮世絵師たちは、戦地には赴かず、新聞記事などを頼りに想像で描いたのです。また、戦争絵ばかりでなく、風刺画や歌舞伎絵など、その内容は実に多岐にわたっていますが、全容はあまり知られていないようです。

当日はさまざまな錦絵をご紹介します。当時の庶民が錦絵を通してどのように西南戦争と向き合ったのか、史実とは異なる〈錦絵のなかの西南戦争〉をご覧になりませんか？



「熊本城戦争図」安達銀光・画(「鹿児島新聞」明治10年3月)

§講座に関するお問合せ§

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-7-1 総合図書館文学・映像課 福岡市文学館担当

電話 092-852-0606 FAX 092-852-0609 Email: bungakukan@city.fukuoka.lg.jp

文学館HP <https://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/literatures/> <https://fukuokabungakukan.com/>